

(概要版) 中途採用職員に対する就職活動アンケート

徳島県福祉人材センター

今後の福祉人材の確保に向けて、福祉分野に就職したきっかけや動機、働いてみての感想、改善点等を調査・分析することにより、求人事業所の求人活動に活かし、ミスマッチによる福祉職離れを防ぐことを目的に、令和元年度以降、他業種から福祉分野に中途採用された職員に対してアンケートを実施した。

- ・実施時期 令和4年10月20日(木)から令和4年11月30日(水)
- ・対象者 令和元年度以降、他業種から福祉施設に転職し、勤務している職員(中途採用者)
- ・回答者 145名(無記名)

- ①取得資格・免許 約41%の方が「資格を持っていない」と回答した。
- ②中途採用時の年齢 「50歳以上」の回答が約27%と最も多かった。
- ③福祉業界に転職したきっかけ 「福祉業界に興味があった」が最も多く(約32%)、次いで「知人からの紹介」「前職の労働時間や業務量に不満があった」が多かった。
- ④転職するにあたって重要視したこと 「通勤距離が近い」「仕事内容」「仕事のやりがい」の回答が多かった。
- ⑤転職するにあたって感じていた不安や困ったこと 「新しい職場になじめるか」「資格や知識がない」「年齢」の回答が多かった。
- ⑥転職に関する相談相手 「家族」「知人・友人」「ハローワーク」の回答が多かった。
- ⑦就職活動での情報収集方法 「ハローワークの求人票の閲覧」が最も多く(約63%)、次いで「インターネットによる希望する職場の情報収集」「福祉施設で働く知人の情報」であった。
- ⑧福祉分野に就職して満足か 「普通」「やや満足」の回答が全体の約8割であった。
「どのような点が満足か」 「職場の人間関係が良い」「仕事にやりがいを感じている」「休暇がとりやすい」の回答が多かった。
「どのような点が不満か」 「思い描いていた仕事内容とずれがあった」の回答が多かった。
- ⑨現在転職したいと思うか 「思わない」が約30%、「どちらでもない」が29%であった。
- ⑩今の職場に期待すること 「賃金を上げてほしい」という回答が60%と最も多く、次いで「研修制度・キャリアアップ制度を充実させてほしい」「人間関係の改善」の回答が多かった。

【まとめ】

回答のあった145名のうち、約4割が「資格を持っていない」と回答しているが、全体の約8割が「福祉分野に就職してやや満足・普通」と回答しており、「転職したいと思わない・あまり思わない」と回答した割合も約6割であった。就職するにあたって感じていた不安なことに「資格や知識がない」という回答が多く(約50%)、資格を持っていなくても働けることを周知していく必要がある。

また、就職活動での情報収集方法について、「インターネットによる希望する職場の情報収集」が約42%と全体の割合を多く占めていることから、ホームページ等を活用した求人活動を強化する必要がある。